

感動産業の創成については、現代版組踊「肝高の阿麻和利」をはじめ、地域資源を活用したコンテンツの創造と感動体験型産業の仕組みづくりに取り組みます。



肝高の阿麻和利

第4 誰もが健康で、互いに助け合える地域を育てます

地域福祉については、「うるま市地域福祉計画」に基づき、うるま市社会福祉協議会や民生委員・児童委員連絡協議会などの関係団体と連携し、市民が住み慣れた地域で安心して暮らし、暮らしていけるよう、多様な生活課題の解決に向け支援します。また、地域福祉計画は中間年度を迎え

ることから、これまでの取り組みを点検し見直しを図ります。

障がい福祉については、「うるま市障がい福祉計画」に基づき、障がい者が地域で共に暮らせる社会の実現を目指すとともに、平成24年度からの次期計画に向け策定に取り組みます。

国民健康保険については、景気低迷の中、滞納世帯の増加や医療費の増大など国保を取り巻く環境は、一段と厳しい状況にありますが、被保険者が安心して医療を受けることができるよう関係機関と連携を図るとともに、医療費の適正化、特定健診・特定保健指導などの保健事業を推進します。

また、伸び続ける医療費を抑制するため、引き続きジェネリック医薬品の普及・啓発を図るとともに、保険税の収納率向上対策を強化し、国保の健全運営に努めます。

後期高齢者医療については、国においては新たな制度改正が予定されていますが、被保険者に混乱が生じないよう沖縄県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、的確な事務処理と制度の周知に努めます。

また、高齢者の健康維持については、健康診査の受診促進に努めるほか、被保険者の負担軽減を図るため、集団検診等の無料化と人間ドック・脳ドック検診費の一部助成を行います。

国民年金については、生涯にわたる生活の支えであることから、窓口相談や広報活動等で制度の周知を図ると

もに、年金事務所と連携し市民の年金受給権の確保に努めます。

生活保護については、要保護者の複雑多岐にわたる需要に対応するため、実施体制の強化や関係部署及び機関との連携を図り、きめ細やかな指導及び助言を行います。また適正保護にも努め、健康で文化的な最低限度の生活保障と被保護世帯の自立支援を図ります。

健康づくりについては、「健康うるま21」に基づき、乳幼児期から高齢期に至るまで、母子保健事業、予防接種事業、健康増進事業などを通して、市民と共に健康づくりを推進します。また本年度は「健康うるま21」の中間年度であることから、これまでの取り組みを評価し、平成24年度からの計画に向け見直しを行います。

成人保健については、各種健康診査、健康相談、訪問指導等の保健事業を実施し生活習慣病予防や、がんの早期発見・早期治療に努めます。

母子保健については、すべての赤ちゃんが元気に生まれ育つため、妊婦健康診査公費負担を継続し、妊婦の健康づくりを支援します。

さらに、子育て支援として乳幼児健康診査の充実を図り、子どもの健やかな成長を保護者と確認するとともに、発育・発達については適切な対応ができるよう個別支援を強化します。

感染症等対策については、予防接種の啓発及び周知に取り組み、接種率の向上に努めます。また、「麻しん排除計

画」に基づき、麻しん風しん混合ワクチン接種を実施するほか、本年度から新たに、子宮頸がん、インフルエンザ菌b型（ヒブ）、小児用肺炎球菌の各ワクチン接種を実施し、感染の予防に努めます。



健康福祉センターうるま

高齢者福祉、介護保険については、「うるま市高齢者福祉計画」及び「第5期うるま市介護保険事業計画」を策定し、高齢者が住み慣れた地域で、健康で生き生きと暮らしていけるよう在宅福祉の充実を図ります。

児童福祉については、児童の健全育成を図るため、家庭・地域・関係機関との連携や児童館・学童クラブの支援に取り組むほか、本年度は新たに児童館建設に向けての調査を実施します。